

最初は計画を立てることに苦劳しましたが、具体的な目標を決めて取り組んでいます。



大沼 桃子さん

福島県

3 年次編入学

年代：20 代（取材時）

### — 入学のきっかけは？

福祉の分野が社会的に注目される中で、人の心の支えとなる心理的支援に強い関心を持ちました。そのため、専門的に学ぶことで困難を抱える人々の力になりたいと考え、東北福祉大学への入学を志望しました。

### — 入学後大変だったことは？

入学後は、1人で学習の計画を立てて進めることが1番大変でした。特に、レポート作成では情報を集めて整理するのに多くの時間がかかり、どこから手をつけたら良いか迷うこともありました。また、科目修了試験の勉強も、効率的な方法がわからず、深夜まで取り組むことも少なくありませんでした。



### — 学習を工夫して乗り越えたことは？

入学後の学習では、計画を立てることが難しく苦劳しましたが、レポートは「この日まで書く！」や「今日はここまで進める！」というような目標を決めて取り組むことで情報の整理にも余裕を持って取り組むことができました。また、科目修了試験の勉強では、過去問を参考にすることで効率よく要点を整理でき、学習を進めやすくなりました。

### — 入学してよかったと感じていることは？

入学してよかったと感じるのは、学びを通して新たな発見や気づきが得られることです。授業内容だけでなく、日常のコミュニケーションにおいても相手の考えや感じ方に気づく場面が増え、人との関わりをより深く考えられるようになったことが大きな成長だと思います。

### — 会場スクーリング、オンデマンド・スクーリングの感想をお聞かせください

会場スクーリングでは、直接先生や仲間と交流しながら学ぶことで理解が深まり、学習意欲も高まりました。一方、オンデマンドスクーリングは自分のペースで繰り返し視聴でき、理解しにくい部分を何度も確認できる点がよかったです。どちらにもそれぞれの良さがあると感じました。



### — 入学してから今までで印象に残っていることは？

入学してから今までで印象に残っていることは、一緒に勉強をする仲間ができたことです。仲間たちと学習状況を共有したり悩みなどを話したりすることで励まされ、前向きに学習に取り組むことができました。1人で学習を進めていても、仲間の存在が大きな支えに繋がっています。会場スクーリングが同じだった時には一緒にご飯を食べに行き、学習以外の時間も分かち合えたことが大切な思い出になりました。



## 小泉 奈々さん

3 年次編入学

宮城県

年代：40 代（取材時） 卒業：2025 年 3 月

職業：看護師（小児科クリニック）



学びを通し、日常のコミュニケーションにおいても人との関わりについて気づくことが増えました。

### — 入学の動機、入学前と卒業後の意識の変化、今後の目標などについてお聞かせください。

看護専門学校を卒業後、小児科医療に携わる仕事を続けてきました。その中で、特に母親支援の重要性を感じ、母子の心理的な部分を支えられる存在になりたいと思い、入学を決意しました。入学当初は、カウンセリングについて深く学びたいと思っていましたが、母親と子どもを支える上では多方面から母子を捉える必要があるという重要性に気付かされました。特に学校心理学、発達心理学、犯罪心理学の授業は大変興味深く、子どもが成長していく中で発達段階それぞれの心理的な課題があることなどを学ばせていただきました。現在、小児科クリニックで発達障害や不登校の問題を抱える親子と関わらせてもらっています。問題の解決を急ぐのではなく、親子それぞれの困り感に寄り添い、少しでも前に進める手助けができればと思っています。

### — 在学中の学びで印象に残ったことや、苦労したエピソードをお聞かせください。

入学時は日本でコロナの緊急事態宣言が発令された直後で、スクーリングが全て中止となり、オンデマンドによる授業を受ける日々でした。しかしオンデマンド学習は私の生活スタイルに合っていて、仕事が休みの日や子どもたちが寝た後に学習するという生活になり



ました。私は3年次編入でしたので2年で卒業することが目標でしたが、やはり仕事・家庭との両立は難しく、卒業までに4年かかりました。しかし、睡眠改善指導者の資格を取得することもでき、さらに目標としていた卒業研究も提出できました。卒業研究は1年以上かけて完成することができました。看護学校は専門学校だったため、初めて卒業研究という論文制作に取り組みましたが、本当に大変でした。質問紙の作成から分析、執筆まで、指導してくださった先生には本当にお世話になりました。担当の先生の助言は大変わかりやすく、いつも励ましてくださり、先生がいなかったら卒業研究は完成しなかったと思います。

### — その他、印象に残ったエピソード、入学希望者に届けたい言葉などをお聞かせください。

・スクーリングでは、他職種の方々と話す機会が多く、勉強以外でも楽しい時間を過ごさせていただきました。

また、土日のスクーリングはたまの1人ランチ時間でもあるので、大学の1階にあるカフェテリアで学割ランチを食べることも楽しみでした。



・レポートを書くときはいつも関わった患者さんだけではなく、自分の娘たちの子育てのことも思い返します。小児科の看護師なのになぜうまくいかないのだろうと悩むことも少なくありません。それでもやはり娘たちは私の癒しです。溜まったレポートを提出してほっとできたときは、いつも家族で外食をしました。学校や友達の話聞きながらおいしいごはんを食べること（自分が作るのではないということがポイント！）が、最大の息抜きです。また、ペットのねこも癒しです。いつも私には寄ってきくれないのですが、落ち込んでいる時や疲れている時、なぜか隣にそっと来て寝てくれます。

### 卒業年度の学習状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レポート												
睡眠改善指導者受験勉強								試験	合格			
卒業研究		アンケート作成			アンケート実施・集計			執筆・修正	提出	合格		卒業